

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>1. 一般国道4号の4車線拡幅整備について</p> <p>1 一般国道4号金ケ崎拡幅の調査・設計、用地買収の推進を図ること。</p> <p>○要望事項 一般国道4号金ケ崎拡幅の事業促進に向けて、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>○『要旨』 一般国道4号金ケ崎区間の4車線拡幅整備につきまして、岩手県の支援により、国による事業化が決定したことに対しまして、御礼申し上げます。 当区間の渋滞解消は、本県産業振興、雇用確保の観点、地方創生の取組の推進につながることから、国への働きかけについて、なお一層のご高配を賜われますようお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』 ◆当該区間は、既に事業化されている北上拡幅整備事業と水沢バイパス整備事業に挟まれた区間で、2車線のいわゆるボトルネック箇所となっており、交通渋滞アンケートや企業アンケートの結果、県南の渋滞個所ワースト1位となっているほか、渋滞対策の推進や4車線化を望む意見が出されている。 ◆岩手中部（金ケ崎）工業団地には、東北を代表する先端技術産業及び自動車関連産業等の企業が立地しており、特に、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場は、トヨタ自動車における小型車の生産拠点として、販売台数国内上位の「C-HR」や「アクア」の完成車を生産している。更に2018年に「ヴィッツ」が愛知県から生産移管されたほか、「ポルテ」「スペイド」なども宮城及び岩手の両工場に生産移管される予定であり、運送業などの新たな関連企業の進出や雇用の拡大にもつながっている。 ◆隣接する北上南部工業団地内では、東北最大規模の日本郵便(株)岩手郵便局や大和ハウス工業(株)物流センターが立地しているほか、北上市においては東芝メモリ岩手(株)の新工場建設が進み、2020年に操業を開始する予定であるなど、物流の一大拠点化も</p>	<p>県では、内陸部における物流の円滑化や地域間の交流・連携を促進し、快適・安全な生活の確保を図る道路として、一般国道4号の整備の重要性を認識しており、6月11日に行った令和2年度政府予算提言・要望において、ご要望の金ケ崎拡幅を含む一般国道4号の整備促進について国に要望しております。</p> <p>金ケ崎拡幅について、令和元年度は用地調査、調査設計等を実施し、用地買収に着手すると国から聞いていますが、事業推進が図られるよう、引き続き当該区間の早期完成について国へ強く働きかけていきます。(A)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>A:1</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>進んできているところである。</p> <p>◆今後、人口問題の克服、周辺市町を含めた地域産業を牽引し、産業活性化による雇用の確保、岩手の復興の後押し、まちづくりの発展、総合戦略の効果的な推進を図るためには、地方創生の礎となる一般国道4号の渋滞を緩和して、岩手中部（金ケ崎）工業団地に係る物流の効率化、生産性の向上を図ることが不可欠である。</p> <p>○『期待される効果』</p> <p>■渋滞緩和による物流の効率化、生産性の向上</p> <p>※三ヶ尻交差点改良事業に伴う効果</p> <p>渋滞距離（上り 600m⇒160m、下り 500m⇒200m）</p> <p>通過時間（上り 5分18秒⇒1分18秒、下り 2分40秒⇒53秒）</p> <p>※通勤車両 約5,000台/日（従業員約6,000人が就業）</p> <p>※完成車両を運ぶキャリアカー 約210台/日</p> <p>■産業振興による雇用創出</p> <p>※県南地域において、企業の進出・設備投資により、平成24年から29年で約2,700人が新規雇用されている。</p> <p>以上のことから、次の事項について、国へ働きかけていただきますよう、要望いたします。</p> <p>1 一般国道4号金ケ崎拡幅の調査・設計、用地買収の推進を図ること。</p>				

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>1. 一般国道4号の4車線拡幅整備について</p> <p>2 「重要物流道路」として指定された幹線道路等のネットワークについて、地域ニーズに応じた必要な連携構築、機能強化や重点整備・支援を行うこと。</p> <p>○要望事項</p> <p>一般国道4号金ケ崎拡幅の事業促進に向けて、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>○『要旨』</p> <p>一般国道4号金ケ崎区間の4車線拡幅整備につきまして、岩手県の支援により、国による事業化が決定したことに対しまして、御礼申し上げます。</p> <p>当区間の渋滞解消は、本県産業振興、雇用確保の観点、地方創生の取組の推進につながることから、国への働きかけについて、なお一層のご高配を賜わりますようお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』</p> <p>◆当該区間は、既に事業化されている北上拡幅整備事業と水沢バイパス整備事業に挟まれた区間で、2車線のいわゆるボトルネック箇所となっており、交通渋滞アンケートや企業アンケートの結果、県南の渋滞個所ワースト1位となっているほか、渋滞対策の推進や4車線化を望む意見が出されている。</p> <p>◆岩手中部（金ケ崎）工業団地には、東北を代表する先端技術産業及び自動車関連産業等の企業が立地しており、特に、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場は、トヨタ自動車における小型車の生産拠点として、販売台数国内上位の「C-HR」や「アクア」の完成車を生産している。更に2018年に「ヴィッツ」が愛知県から生産移管されたほか、「ポルテ」「スペイド」なども宮城及び岩手の両工場に生産移管される予定であり、運送業などの新たな関連企業の進出や雇用の拡大にもつながっている。</p> <p>◆隣接する北上南部工業団地内では、東北最大規模の日本郵便(株)岩手郵便局や大和ハウス工業(株)物流センターが立地しているほか、北上市においては東芝メモリ岩手(株)の新工場建設が進み、2</p>	<p>国土交通省では、昨年3月の道路法改正において、国土交通大臣が物流上重要な道路網を「重要物流道路」として指定し、国際海上コンテナ車（40ft背高）の特車通行許可を不要とする措置の導入や災害時の道路啓開・災害復旧を国が代行する制度を創設しました。</p> <p>平成31年4月1日には、まず供用中の高規格幹線道路、直轄国道を中心に重要物流道路の指定が行われたところです。</p> <p>県としては、指定された重要物流道路と代替・補完路の機能強化や重点整備について、国に強く働きかけていきます。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B：1</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>020年に操業を開始する予定であるなど、物流の一大拠点化も進んできているところである。</p> <p>◆今後、人口問題の克服、周辺市町を含めた地域産業を牽引し、産業活性化による雇用の確保、岩手の復興の後押し、まちづくりの発展、総合戦略の効果的な推進を図るためには、地方創生の礎となる一般国道4号の渋滞を緩和して、岩手中部（金ケ崎）工業団地に係る物流の効率化、生産性の向上を図ることが不可欠である。</p> <p>○『期待される効果』</p> <p>■渋滞緩和による物流の効率化、生産性の向上</p> <p>※三ヶ尻交差点改良事業に伴う効果 渋滞距離（上り 600m⇒160m、下り 500m⇒200m） 通過時間（上り 5分18秒⇒1分18秒、下り 2分40秒⇒53秒）</p> <p>※通勤車両 約5,000台/日（従業員約6,000人が就業） ※完成車両を運ぶキャリアカー 約210台/日</p> <p>■産業振興による雇用創出</p> <p>※県南地域において、企業の進出・設備投資により、平成24年から29年で約2,700人が新規雇用されている。 以上のことから、次の事項について、国へ働きかけていただきますよう、要望いたします。</p> <p>2 地域経済の活性化を図るため、「重要物流道路」として指定された幹線道路等のネットワークについて、地域ニーズに応じた必要な連携構築、機能強化や重点整備・支援を行うこと。</p>				

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2. 北上川流域における自動車・半導体産業に対する集中的投資について</p> <p>1 北上川流域に特化した岩手県土地開発公社を活用した産業用地の造成・整備</p> <p>○要望事項 岩手県として、北上川流域における自動車・半導体産業振興への集中的投資について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>○『要旨』 自動車・半導体産業の集積が加速化している北上川流域に対して岩手県においても、新たに県民計画の柱の一つとして北上川バレープロジェクトを創設したところです。このプロジェクトを推進するためにも、北上川流域の産業集積地に対し集中的に投資し、産業集積の絶好の機会を確実にとらえ、本県の更なる産業振興に向けた基盤強化を進められますようお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』 ◆トヨタのコンパクトカーの製造拠点の一つである北上川流域は、岩手県における自動車産業の重要拠点として位置付けられており、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場では、昨年、人気小型車が生産移管され、今後も継続的な新車種の生産が見込まれるほか、(株)デンソー岩手など主要サプライヤーによる大型設備投資や地場企業の自動車産業への参入も着実に進み、本県経済を牽引している。 ◆併せて、半導体産業においても、今般、隣接する北上市に東芝メモリ岩手(株)が新工場を建設し2020年に操業を開始する予定であり、関連企業の進出や大型設備投資が続くなど、当地域における産業集積が加速化している。 ◆このように、更なる産業集積に向けた絶好のチャンスが到来している中、当地域における産業用地の不足や物流路線の維持管理などインフラ整備が課題となっている。中でも、産業用地は、ここ数年で新規立地や設備投資が続いた中で、企業のニーズに応えられる用地が不足しており、自動車・半導体産業を中核とした産</p>	<p>北上川流域を中心に自動車・半導体関連産業の集積が進む中、特に県南地域において産業用地が不足している状況であることは、県としても認識しているところです。 産業用地の整備については、基本的に市町村において対応すべきものと考えていますが、県としても、市町村の意向や企業ニーズの把握を行いつつ、市町村による産業用地整備が円滑に行われるよう必要な支援を行っていきます。 また、岩手県土地開発公社による産業用地の造成・整備については、その必要性や財源等を総合的に勘案して判断することとしております。 なお、産業用地の整備には多額の費用を要することから、県では国に対して、産業用地の整備に対する支援を行うよう要望しているところであり、引き続き国に働きかけていきます。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>C : 1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>業振興による地方創生を推進するうえで、広域的且つ喫緊の課題となっている。</p> <p>○『期待される効果』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■全国有数のものづくり産業の集積地形成 ■企業経営に優位な産業基盤の強化 ■広域的な雇用と税収の確保 <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 北上川流域に特化した岩手県土地開発公社を活用した産業用地の造成・整備</p>				

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>2. 北上川流域における自動車・半導体産業に対する集中的投資について</p> <p>2 町道南花沢・前野（みなみはなさわ・まえの）線等を県道に移管すること。</p> <p>○要望事項 岩手県として、北上川流域における自動車・半導体産業振興への集中的投資について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>○『要旨』 自動車・半導体産業の集積が加速化している北上川流域に対して岩手県においても、新たに県民計画の柱の一つとして北上川バレープロジェクトを創設したところです。このプロジェクトを推進するためにも、北上川流域の産業集積地に対し集中的に投資し、産業集積の絶好の機会を確実にとらえ、本県の更なる産業振興に向けた基盤強化を進められますようお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』 ◆トヨタのコンパクトカーの製造拠点の一つである北上川流域は、岩手県における自動車産業の重要拠点として位置付けられており、トヨタ自動車東日本(株)岩手工場では、昨年、人気小型車が生産移管され、今後も継続的な新車種の生産が見込まれるほか、(株)デンソー岩手など主要サプライヤーによる大型設備投資や地場企業の自動車産業への参入も着実に進み、本県経済を牽引している。 ◆併せて、半導体産業においても、今般、隣接する北上市に東芝メモリ岩手(株)が新工場を建設し2020年に操業を開始する予定であり、関連企業の進出や大型設備投資が続くなど、当地域における産業集積が加速化している。 ◆このように、更なる産業集積に向けた絶好のチャンスが到来している中、当地域における産業用地の不足や物流路線の維持管理などインフラ整備が課題となっている。中でも、産業用地は、ここ数年で新規立地や設備投資が続いた中で、企業のニーズに応え</p>	<p>県道昇格については、市町村間を結ぶ道路など道路法に規定する認定要件を具備する必要がある、これらの要件を満たした路線について、地域の道路網における市町村道との機能分担や、整備・管理する必要性等を総合的に判断の上行うこととしており、現在のところ、御要望の区間の県道昇格は難しい状況です。 (C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C：1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>られる用地が不足しており、自動車・半導体産業を中核とした産業振興による地方創生を推進するうえで、広域的且つ喫緊の課題となっている。</p> <p>○『期待される効果』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■全国有数のものづくり産業の集積地形成 ■企業経営に優位な産業基盤の強化 ■広域的な雇用と税収の確保 <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>2 町が管理している町道のうち、重要物流道路にも指定された物流の主要経路であるとともに県南・県央地域の企業をつなぐ産業道路であり、かつ近隣市町からの通勤経路となっている町道南花沢・前野（みなみはなさわ・まえの）線等を県道に移管（総延長6,750メートル）すること。</p>				

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>3. JR東北本線の利便性向上について</p> <p>○要望事項 JR東北本線利用者の利便性向上について、特段のご高配をお願いいたします。</p> <p>○『要旨』 JR東北本線利用者の利便性を高めるため、盛岡駅から一ノ関駅間の増便及び無人駅となった六原駅の駅員配置等について、JR東日本㈱へ働きかけをお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』</p> <p>◆JR東北本線は、胆江地域及び両磐地域における住民生活や経済活動に密接な関わりを持っている重要な鉄道路線である。加えて、JR東北本線の駅は、地域において人の流れを創出する重要な施設であり、駅員の配置によりJR東北本線利用者の利便性が向上し、安心・安全に利用できる。</p> <p>◆自動車関連等をはじめ、多くの事業所の集積が進む中、㈱デンソー岩手や東芝メモリ岩手㈱などでは今後も多くの新規雇用が見込まれており、当町を含む近隣市町に多くの従業員が居住し、更に増加することが期待される。その従業員の通勤手段の一つであるJR東北本線の運行本数が、朝の時間帯を除き1時間間隔であり、JR東北本線を利用するにあたり不便な状況となっている。</p> <p>◆JR東北本線は、町外及び町内へ通学する学生の貴重な交通手段であるが、運行本数が少ないことから、朝夕の混雑により通学に不便な状況となっている。</p> <p>◆JR東北本線六原駅周辺のまちづくりに向けて、町・住民・周辺企業が一体となり取組みを進めており、JR東北本線六原駅利用者の利便性向上及び賑わい創出に積極的に取り組んでいる。</p> <p>○『期待される効果』</p> <p>■JR東北本線の利用者の増加 ■金ヶ崎駅及び六原駅周辺への移住・定住者の増加 ■金ヶ崎駅及び六原駅の駅前が活性化</p>	<p>鉄道路線については、地域の意向をダイヤ編成等に反映するとともに、地域のまちづくりとの連携等を通じ、利用者の利便性向上と交通結節点としての機能強化を図ることが重要であると考えています。</p> <p>JR線については、毎年度、市町村等のJR線に係る要望を県が取りまとめ、JR東日本盛岡支社に対して要望書を提出しており、今後も地域の意向が運行ダイヤ等に反映されるよう取り組んでいきます。(B)</p> <p>また、令和元年12月25日には管内8市町、9商工会議所・商工会及び県南広域振興局を構成員として「JR線岩手県南地域利用促進協議会」が設立され、構成団体が連携してJR東北本線等の利便向上等をJR東日本㈱に働きかけていきます。</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>経営企画部</p>	<p>B：3</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>■町外及び町内の事業所へ通勤する従業員の利便性が向上 ■町外及び町内へ通学する学生の利便性が向上 ■国道4号等の通勤時間帯の混雑の緩和 以上のことから、次の事項についてJRへ働きかけていただきますよう要望いたします。</p> <p>1 北上駅発着の普通列車を一ノ関駅発着に変更 2 六原駅に駅員の配置及び利用者の利便性向上 3 金ヶ崎駅及び六原駅周辺のまちづくりに対する連携及び協力</p>				

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>4. 県立胆沢病院の医療体制の充実について</p> <p>○要望事項 胆江保健医療圏における小児医療環境の充実に向け、県立胆沢病院へ小児科医師を配置いただきましたことに対しまして、御礼申し上げます。 安心して子どもを産み育てられる環境のより一層の整備に向け、胆江保健医療圏への産婦人科医師の確保による周産期医療体制の充実、特に県立胆沢病院の体制強化について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>○『要旨』 胆江保健医療圏への産婦人科医師の確保による周産期医療体制の充実、特に県立胆沢病院の体制強化について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』 ◆人口減少が進行しているなかで、各市町では少子化への対応を重点課題として様々な取組を進めているところであり、特に安心して子どもを産み育てられる環境の整備が必要である。 ◆県立胆沢病院は、胆江保健医療圏内の各医療機関と地域医療の連携の中心かつ重要な役割を担っているが、県地域医療構想の達成に向けた病床機能の分化と連携が進む中で、重要性が更に増すものと考えられる。 ◆当町における出産の医療機関別の内訳では、県立中部病院と北上済生会病院における出産が約5割を占めていることから、設備や人員体制の充実した病院での出産を希望する妊産婦も多いと考えている。 ◆県立中部病院、北上済生会病院及び県立磐井病院が岩手中部・胆江・両磐周産期医療圏における地域周産期母子医療センターとなっており、連携体制の構築は進められてはいるが、胆江保健医療圏域においては地域周産期母子医療センターに位置づけられる病院はなく、分娩を取り扱うのは診療所のみであるため、胆江圏域における適切な医療提供体制の確保・充実は早急に対応すべき</p>	<p>県では、県内に4つの周産期医療圏を設定し、医療機関の機能分担と連携の下、分娩リスクに応じた医療提供体制の整備を推進しており、胆江地域が含まれる県南圏域（岩手中部・胆江・両磐周産期医療圏）は、県立中部病院、県立磐井病院及び北上済生会病院が地域周産期母子医療センターとなり、リスクの高い分娩を担うこととなっています。また、分娩に対応する医療機関や市町村の間で、妊産婦等の情報を共有する周産期医療情報ネットワーク「いーはとーぶ」による連携にも努めています。</p> <p>県立胆沢病院の産婦人科への医師の配置については、派遣元である大学において医師の絶対数が不足しており、非常に厳しい状況が続いています。</p> <p>産婦人科の医師については、まずは地域周産期母子医療センターの充実を図る必要があると考えます。（C） 今後においても、関係大学等への医師派遣要請や即戦力医師の招聘等を粘り強く続けていきます。また、平成30年度において、岩手中部・胆江・両磐周産期医療圏の連絡調整会議を初めて開催し、医療機関同士の意識の共有が図られたところであり、これを踏まえて、今後も会議を開催するなどし、地域周産期母子医療センター等医療機関との連携体制の構築に取り組み、周産期母子医療体制の充実・強化に努めていきます。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部</p>	<p>B : 1、 C : 1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>課題と考える。</p> <p>○『期待される効果』 ■妊産婦の不安が軽減され、安心して出産に臨むことができる 以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 県立胆沢病院の産婦人科医師の確保対策に努め、安心して子どもを産み育てられる医療体制の充実を図ること。</p>				

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>5. 骨髄等のドナーに対する支援策の充実について</p> <p>○要望事項 骨髄バンク登録に対する理解促進及び骨髄等ドナーに対する経済的支援について特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>○『要旨』 骨髄等ドナー登録拡大のため、骨髄バンクに関する事業所等の理解促進及び骨髄等ドナーの経済的負担の軽減を図ることについて、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』 ◆骨髄バンク事業は、移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律に基づき、骨髄等の提供の呼びかけを公益財団法人日本骨髄バンクが主体となって行っている。 ◆骨髄バンク事業においては、骨髄等の提供のための検査や入院のためのドナー側の負担はなく、提供に伴う健康障害が生じた場合でも、骨髄バンク団体傷害保険による保険金が支払われるなど、ドナーの負担軽減に向けたさまざまな取組が行われている。 ◆しかし、ドナーの健康上の問題の他、ドナーが検査や入院等のために休業した場合の補償や休暇の制度が地方公共団体や一部の企業を除いて整備されていないなどの理由により、移植を待つ患者のうち移植を受けられる患者は6割にすぎない。 ◆ドナーに対して経済的支援を行っている自治体は、令和元年6月時点で39都道府県、536市区町村となっている。県によって助成自治体数に大きなバラツキがあり、岩手県は助成自治体がないという現状である。金ヶ崎町は令和元年6月12日付けで骨髄等ドナー支援助成金交付要綱を設置し、ドナー及び事業所に対する助成を開始したところである。 ◆より多くのドナーが安心して骨髄等を提供し、骨髄移植等が一層促進されるよう、県として骨髄バンクに関する理解促進及びドナーに対する経済的支援対策の充実が必要である。</p> <p>○『期待される効果』 ■骨髄等ドナー登録者数が増え、骨髄等の移植を受けることができる患者が増える。 以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 骨髄バンクに対する理解促進を図り、骨髄等ドナー等に対する経済的支援対策の充実を図ること。</p>	<p>骨髄バンクへのドナー登録の拡大は、骨髄移植の可能性を高め、白血病などの治療が困難な血液疾患の患者を救うことにつながることから、県では、これまでも、保健所において毎月登録受付日を設けているほか、ドナー登録推進月間における普及啓発や献血会場でのドナー登録会の開催など、登録を促進する取組を行ってきたところです。しかし、本県の登録者数は全国の中でも少ない状況にあることから、登録者数の増加に向け、骨髄提供時の負担など登録希望者の不安に答えながら、必要性や手続きについて適切な説明を行うドナー登録説明員を養成し、新たな説明員が活動を始めているほか、県ホームページの普及啓発に関する情報の充実を図ったところです。(A)</p> <p>また、登録者が骨髄提供を行いやすい環境の整備も重要であり、企業等における「ドナー休暇」制度の導入を促進するため、県内企業に対する普及啓発を行っているほか、全令和2年度からは、市町村が行う骨髄提供者等への経済的支援に対し、補助を行うこととしたところです。(A)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部</p>	<p>A：2</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>6. 水素ステーション建設等に向けた取組推進について</p> <p>○要望事項 岩手県の水素利活用プロジェクト推進、特に水素ステーションの建設等に向けた取組の推進について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>○『要旨』 国において脱炭素社会の達成に向けた取組が加速している状況下、本県においても、新たに県民計画の柱の一つとして掲げた「水素利活用プロジェクト」の推進、特に水素ステーションの建設及び燃料電池車の普及拡大に向けた取組を積極的に推進されるようお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』 ◆国では2017年12月に策定した「水素基本戦略」に加え、本年3月に新たな「水素・燃料電池戦略ロードマップ」を策定、更に政府においては、地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」に基づく長期戦略を閣議決定し、水素社会、脱炭素社会の達成に向けて取組を加速化させている。 ◆県では本年3月に岩手県水素利活用構想を策定するとともに、新たな県民計画の柱の一つとして「水素利活用プロジェクト」を掲げ、脱炭素社会に資する具体的な取組を開始しようとしている。 ◆このような中、「田園環境保全の町宣言」をした本町としては、水素社会、脱炭素社会の実現に向けた国・県の動きに呼応し、連携、協力の内容を検討しているところであるが、プロジェクトの推進については、まず水素ステーションの建設及び燃料電池車の普及拡大を図り、水素利活用のモデル創出をすることにより、全県的に波及させていくことが効果的であると考えている。 ◆ただし、水素ステーションの建設、運営については、特にコスト面で課題が山積しており、北東北においては、官民ともに建設計画等の具体的な動きに至っていない状況である。</p>	<p>県では、県の総合計画「いわて県民計画（2019～2028）」において、新しい時代を切り拓くプロジェクトのひとつとして「水素利活用推進プロジェクト」を掲げるとともに、その実現に向けて「岩手県水素利活用構想」を策定したところであり、今後、再生可能エネルギーの導入促進や、低炭素で持続可能な社会の実現に向け、水素の利活用を推進していくこととしています。</p> <p>水素を燃料にして走行する燃料電池自動車と、燃料電池自動車に水素を供給する水素ステーションについては、県民に身近な水素の利活用方法のひとつとして普及が期待される場所であり、県としても、県内の事業者や自治体等関係者と情報を共有するため、「岩手県水素ステーション等研究会」を設置し、県内への導入に向けた機運の醸成や必要な対策についての検討を進めることとしています。（A）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>保健福祉環境部</p>	<p>A:1</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>○『期待される効果』</p> <ul style="list-style-type: none"> ■岩手県における水素利活用モデルの創出 ■岩手県、東北への水素利活用の取組波及 ■水素社会、脱炭素社会の実現に向けた取組の加速 <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 水素ステーションの建設及び燃料電池車の普及拡大に向けて、必要な検討及び対策を講じること。</p>				

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>7. 茅文化保存のための茅生産に対する支援について</p> <p>○要望事項 茅葺屋根文化財の保存修復に必要な山茅の一大生産地である千貫石茅場の山茅安定供給について特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>○『要旨』 千貫石茅場を千貫石ため池の水源涵養、環境保全及び山茅安定生産のため、長期的に適正な管理ができるよう、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』 ◆千貫石ため池は金ケ崎町、北上市の1, 360ヘクタールに及ぶ広大な農地の水源地として重要な役割を果たしている。このことから、池の上流部（県有地）で農薬や化学肥料等が使用されると水質が汚染され、有機農業や減農薬栽培などの多様な農業が困難となる。このため、町では、ため池の上流部にある県有地を借用し、肥料や農薬を必要としない山茅生産を実施してきた。 ◆長年にわたる千貫石茅場での山茅生産・出荷により、文化財保全に必要な山茅の生産地として重要性が認められ、町の文化財指定をはじめ、平成27年3月には、文化庁の「ふるさと文化財の森」の設定を受けた。 ◆平成29年には、県において地域産業の核となり得るものとして「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律」に基づく地域産業資源に指定いただいた。 ◆自立した茅生産を目指して取り組んでいるが、生産コストが1束あたり900円から1,000円かかるのに対し、茅葺業者等への実売価格は1束あたり1,000円から1,200円ほどであり厳しい経営が続いている。 ◆町では、今後も良質な山茅を安定供給し、県内文化財の保存に寄与していくためには、安定した供給先の確保及び適切な販売価格の設定が必要と考えており、栽培、機械刈及び保管技術の開発をはじめとした生産方法について検討しながら取り組んでいく</p>	<p>1 文化財である茅葺屋根修復は、文化財の所有者及び各自治体において業者に委託するなど個別に施工していますが、文化庁の「ふるさと文化財の森」としての設定を受けている本県の貴重な植物性資源であることから、県教育委員会としても金ケ崎町産山茅について、指定文化財を所管する各市町村教育委員会や所有者に対し、その活用について引き続き情報提供を行い、積極的な利用につながるよう支援します。（A）</p> <p>2 補助事業所管の立場から、修理が予定されている国・県指定文化財数についての情報を有していることから、文化財補助金ヒアリングの際に修理予定の文化財建造物の情報提供します。（A）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>県南教育事務所</p>	<p>A：2</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>いと考えている。</p> <p>○『期待される効果』</p> <p>■千貫石茅場の長期的な維持管理による千貫石ため池の水源涵養と環境保全</p> <p>■町産山茅の安定生産及び供給による茅葺屋根文化財の保存修復以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 地域産業資源である町産山茅が県内の茅葺屋根を使用している文化財修復に利用されるように関係者に対する情報提供を継続いただくこと</p> <p>2 茅葺屋根を使用している県内文化財等における山茅の需要量を情報提供いただくこと。</p>				

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>8. 一般県道久田笹長根線の歩道整備の促進について</p> <p>1 六原幼稚園東側から一般県道前沢北上線までの区間の歩道整備に係る事業を促進すること。</p> <p>○要望事項 一般県道久田笹長根線の歩道施設整備について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>○『要旨』 一般県道久田笹長根線の歩道整備の促進につきましては、昨年度、六原幼稚園東側から県道前沢北上線までの0.8 km区間の詳細設計を実施していただくとともに、今年度、用地測量等を実施することとであり、事業が進んでいることに対しまして、御礼申し上げます。 歩行者の安全確保のため、当該区間の事業促進及び未整備区間の早期整備について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』 ◆一般国道4号から北上市和賀に至る一般県道久田笹長根線は、千貫石温泉、北上市西部の夏油温泉、夏油高原スキー場をはじめとする豊かな観光資源へのアクセスとして、また岩手県立農業大学校、岩手県立花きセンター及び東北横断自動車道（釜石秋田線）へのアプローチとして地域に密着した路線である。 ◆自動車産業等の振興に伴い、北上・金ケ崎ICや一般県道前沢北上線から岩手中部（金ケ崎）工業団地等に向かう通勤車両及び物流の大型車両の交通量が急増している。 ◆児童・生徒が関係する事故があったことや北部地区流通業務団地に新たに運送業者が進出するなど大型車の交通量が更に増加しており、地元住民や保護者などから児童・生徒、高齢者等の歩行者の安全確保を強く求められている。</p> <p>○『期待される効果』 ■歩道整備による児童・生徒及び高齢者等の安全確保以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 六原幼稚園東側から一般県道前沢北上線までの区間の歩道整備に係る事業を促進すること。</p>	<p>歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。 御要望の区間については、平成30年度に事業着手し、環境調査、用地測量等を実施しました。令和元年度は修正設計を実施しています。今後とも地元の御協力をいただきながら、整備推進に努めていきます。（A）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>A：1</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>8. 一般県道久田笹長根線の歩道整備の促進について 2 一般県道久田笹長根線の歩道整備に係る未整備区間を解消すること。</p> <p>○要望事項 一般県道久田笹長根線の歩道施設整備について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>○『要旨』 一般県道久田笹長根線の歩道整備の促進につきましては、昨年度、六原幼稚園東側から県道前沢北上線までの0.8 km区間の詳細設計を実施していただくとともに、今年度、用地測量等を実施することとされており、事業が進んでいることに対しまして、御礼申し上げます。 歩行者の安全確保のため、当該区間の事業促進及び未整備区間の早期整備について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』 ◆一般国道4号から北上市和賀に至る一般県道久田笹長根線は、千貫石温泉、北上市西部の夏油温泉、夏油高原スキー場をはじめとする豊かな観光資源へのアクセスとして、また岩手県立農業大学校、岩手県立花きセンター及び東北横断自動車道（釜石秋田線）へのアプローチとして地域に密着した路線である。 ◆自動車産業等の振興に伴い、北上・金ケ崎ICや一般県道前沢北上線から岩手中部（金ケ崎）工業団地等に向かう通勤車両及び物流の大型車両の交通量が急増している。 ◆児童・生徒が関係する事故があったことや北部地区流通業務団地に新たに運送業者が進出するなど大型車の交通量が更に増加しており、地元住民や保護者などから児童・生徒、高齢者等の歩行者の安全確保を強く求められている。</p> <p>○『期待される効果』 ■歩道整備による児童・生徒及び高齢者等の安全確保以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>2 一般県道久田笹長根線の歩道整備に係る未整備区間を解消すること。</p>	<p>歩道整備については、県内各地から多くの要望があり、必要性、緊急性等を考慮しながら整備を進めている状況です。 御要望の区間については、早期の事業化は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。（C）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C：1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>9. 北上川右岸治水対策事業について</p> <p>○要望事項 かさ上げ区間・無堤防区間解消の早期実施について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>○『要旨』 県の支援により、国の平成21年度繰越事業による三ヶ尻地区堤防の補強工事が平成23年度に完成したことに対しまして、御礼申し上げます。 引き続き、無堤防区間解消の早期実施について、特段のご高配を賜われますようお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』 ◆本要望箇所は、平成23年度に堤防の補強工事が完成した江崎大橋南側から一級河川宿内川合流地点までの右岸下流約1,800メートルのうち、かさ上げが必要な区間が約700メートルであり、更に下流約1,100メートルが無堤防区間であることから、平成14年及び平成19年の大雨・台風により、田畑に冠水被害を受けたところである。 以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 かさ上げ区間約700メートル及び無堤防区間約1,100メートルの解消工事の早期実施へ支援すること。</p>	<p>無堤防区間が多い北上川中流部（概ね紫波町から奥州市の区間）においては、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水に伴い、5年間に2度も甚大な浸水被害を受けています。 国では、北上川中流部緊急治水対策事業として、まずは住家への浸水被害の軽減を図ることを優先して進めることとしており、当該地区については他地区の進捗を勘案しながら対応すると聞いています。 北上川の治水対策は、県としても重要な課題であり、整備促進に向け引き続き国に働きかけていきます。（B）</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>B：1</p>

金ケ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>10. (仮称) 新金ケ崎大橋の新設について</p> <p>○要望事項 奥州市江刺と金ケ崎町を結ぶ(仮称) 新金ケ崎大橋の新設について、特段のご高配をお願い申し上げます。</p> <p>○『要旨』 奥州市江刺と金ケ崎町を結ぶ(仮称) 「新金ケ崎大橋」の新設について、特段のご高配を賜われますようお願い申し上げます。</p> <p>○『現状と課題』 ◆奥州市江刺と金ケ崎町を結ぶ金ケ崎橋は、地域に密着した生活路線である県道江刺金ケ崎線のうち北上川に架かる橋梁であり、近年、両市町や北上南部工業団地への自動車関連企業等の立地が進んでいることから、産業道路としても重要な機能を持っている。 ◆当該路線は、岩手中部(金ケ崎)工業団地、江刺中核工業団地、北上南部工業団地に関連する産業及び物流の路線として、金ケ崎町と奥州市江刺、北上市と釜石港及び大船渡港、さらには秋田港を結ぶ産業振興・物流支援の重要道路でもある。 ◆しかし、金ケ崎橋から県道沿い一帯は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されていることから、拡幅等の整備が制約され、その東に位置する金ケ崎橋は、幅員が狭く歩道敷設も構造的にできない状況で、車両とすれ違う歩行者や自転車等の通行が常に危険と隣り合わせであり、大型車両等の通行ができない状況である。 ◆また、産業集積の進行に伴い通行車両が増加し、朝夕の通勤時間帯には交通渋滞が発生している。 ◆(仮称) 「新金ケ崎大橋」の新設は、産業振興に寄与し、企業誘致を進める上でも地域の安全・安心を確保する上でも重要な整備であり、将来の県南部の発展のために必要な道路になると考えている。 ◆対岸の奥州市及び地区住民とも、その必要性について認識をともにしているところであり、両市町及び住民が連携して要望等を</p>	<p>御要望の橋梁新設については、早期の事業化は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら総合的に判断していきます。(C)</p>	<p>県南広域振興局</p>	<p>土木部</p>	<p>C:1</p>

金ヶ崎町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>行うことを検討している。</p> <p>○『期待される効果』</p> <p>■物流の充実、拡大による産業振興</p> <p>■企業立地に伴う雇用の確保</p> <p>■自動車産業をはじめとする生産性の向上</p> <p>以上のことから、次の事項について要望いたします。</p> <p>1 奥州市江刺と金ヶ崎町を結ぶ（仮称）「新金ヶ崎大橋」を新設すること。</p>				